

認知症フレンドリーな 錦江町づくりプロジェクト

鹿児島県錦江町 介護福祉課 地域包括支援センター
本村 貴浩

錦江町の概況



- 概況 2005年に、旧大根占町と旧田代町が合併
- 人口 6,263人 (2024.4.1)
- 高齢化率 48.3% (2024.4.1) → 鹿児島県内で第2位の高さ
- 認知症の方の人数 485人(2024.9.1) → 高齢者の6.2人に1人、町民の12.9人に1人
(日常生活自立度ランクⅠ～Ⅲ：91.2%)





① 普及啓発

全ての町民さんに認知症や認知症の人に対するこれまでのイメージを変えていただく！

② 認知症カフェ

認知症があっても、やりたいことにチャレンジし、社会や当事者同士でつながっていける場所・仕組みをつくる！

③ まちづくり

認知症があっても、少しでも生活しやすく、使いやすいまちに変えていく！

○ 令和2年度まで

- ・ 誰でも参加自由
- ・ 認知症当事者の家族が話しづらい雰囲気

○ 令和3年度から

- ・ 認知症当事者とその家族だけのミーティング型のカフェを開催
- ・ ご本人の声を聞くことに悪戦苦闘





○ 新たな挑戦

- ・ 自己選択・自己決定を重視した活動型プログラム



○ 地元の小学校でのボランティア作業

- ①「みんなでおしゃべり」 ②「花の苗の植え替え」
- ・ 経験を活かして作業、子どもたちが作業をサポート
- ・ 満面の笑顔や楽しそうな声
- ・ スタッフとしても初めて手ごたえを感じる
- ・ 選択方式による本人の声の聴取



○ 振り返りタイム

- ・ 「子どもたちと遠足」、「子どもとゲームをしたい」
- ・ 初めての意思表示





小学校での共同作業や子供たちとの交流を通じて、

- ・ 人の役に立つことの喜び（生きがい）
- ・ メンバーさん同士の仲間意識、お互いを思いやる気持ち
が確実に醸成



今後の認知症カフェのキーワード

- ① 自己選択・自己決定
- ② 社会貢献や仲間意識の醸成につながる共同作業
- ③ 子どもたちや事業所等との交流

○ 次のステップへ

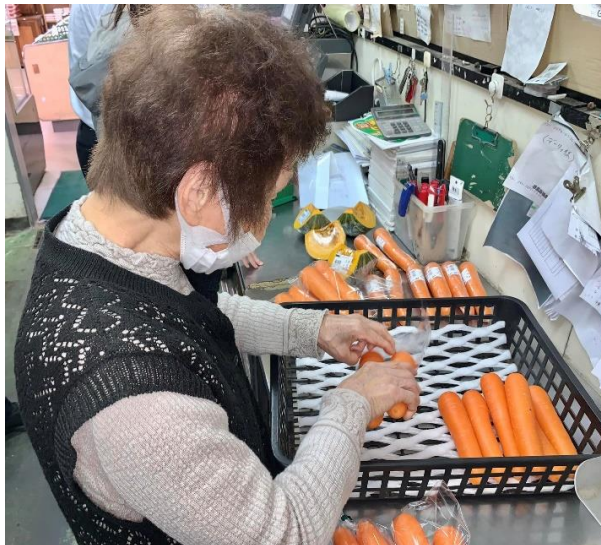
「社会とつながるカフェ」本格始動（令和6年4月～）

・ 第1・3・5水曜日 ⇒ 従来の「当事者同士でつながるカフェ」

・ 第2・4水曜日 ⇒ 「社会とつながるカフェ」

= 事業所と連携した「ハタラク」取組

○ 地元のスーパーでの野菜等の陳列作業



① 野菜等を袋に詰めて



② 値札やシールを貼り



③ 店内に運び、陳列



○ 「ハタラク」取組の進め方

- ① 新メニューについては、メンバーさんたちに、選択メニューのひとつとしてお示しし、4～5回ほど、無償ボランティアで体験。
- ② メンバーさんたちが望まれる有償化の形を、メンバーさんたちからお聞きする。
(お金? お金ならいくら? 飲み物の提供?・・・など)
- ③ メンバーさんたちが望まれる有償化が実現可能かどうか、メンバーさんたちと
いっしょに、事業者と交渉を行う。
 - 交渉成立 ⇒ 有償ボランティアへ
 - × 交渉不成立 ⇒ 無償ボランティアとして、選択メニューに残すかどうか、ご相談

○ 有償ボランティア第1号「新鮮倶楽部おおやま」さんでの取組

- ① メンバーさんのご希望を伺い、一緒に、店側と交渉した結果、メンバーさんたちのご希望どおり、「同店で販売している飲み物のうち、お好きな飲み物1本を謝礼としていただく」ことに決定



- ② ①に加え、お店側のご厚意で、「おおやまでの作業に2回参加するごとに、同店の商品券500円分を贈呈していただく」ことをプラス



○ 積み木プロジェクト

- ・ 「ハタラク」取組に参加したいけど、**足が痛くて参加できなかったり、外に出たくないメンバーさん向け**に選択肢にプラス（令和6年9月～）
- ・ 町内の木材加工事業者さんから無償提供していただいた**錦江町産木材の端材**をサンドペーパーで磨き、安心・安全な積み木を製作
 - 去年は、**田代こども園**や**大根占子育て支援センター**で交流した子どもたちにクリスマスプレゼント





○ 認知症フレンドリーコミュニティ（DFC）推進チーム「チーム あ!! to HOME」

- ・ 様々な分野において、様々な視点で取り組む
- ・ 一緒にアイデアを出し合いながら、取組を進めていく
- ・ 「認知症フレンドリーパートナー養成講座」を受講した方から募集

○ 令和6年4月現在の推進チーム員の状況

医療（8）、介護・福祉（9）、学校（1）、金融機関（1）、小売（5）、
青年団（1）、一般町民（5）、町議会議員（3）、地区公民館（1）、
民生委員（10）、在宅福祉アドバイザー（2）、NPO法人（5）、
地域おこし協力隊（3）、役場若手職員等（11）、その他（1）

計 66名



○ 認知症当事者の声を根拠に、町民主体で進める「Our Project」の検討

錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」当事者メンバーの声
(R5.1.11 14:00~15:35)

今後、ゆうゆうカフェで、どんなことをしていきたいか？

照葉樹の森のビジターセンターに行きたい！
(91歳女性・田代)

遠足に行きたい！佐多岬とか。
(82歳男性・田代)

現状維持でいい、今が楽しい！
(72歳男性・神川)

みんなで集まることかいい！
(76歳男性・城元)

あそこに行きたい、ここに行きたいとかはない、かかては、ひとりでいるので。みんなの話を聞いて、このカフェに私も行ってみたいと思って参加した。
(初参加・75歳女性・大原)

ゆうゆうカフェに限らず、自分の生活の中で、これからの人生でやってみたいことは？

(カフェ)みんなとやりたいことばかり、何をと言うことはないか...
(76歳男性・城元)

人と接するのがかいばんいいし、だから、私は、電動カーに乗ってあちこち行く、人と接することがかいばん楽しい！
(84歳女性・神川)

私(カフェ)みんなとやりたいことばかり、何を言うことはないか...
(82歳男性・田代)

なかなか難しい質問だ。自分で今までやってきたことが、少しでも、みんなのためになれば、自分の経験を活かして、地域のために貢献できれば。
(72歳男性・神川)

今に満足、特にない。
(91歳女性・田代)

動物が好き、犬、猫、牛、かわいがる、私たちに冷たくしたことはない、犬も猫も2匹いる、好きだ！いなくなっても、次のを飼う。

花を植えるのも好き、実際植えている。花とか野菜の苗を売る本をずっと見ている、自分の趣味で、他にやりたいことはない、夫は、「バカ牛が安かった」とか言うが、かわいし。

(カフェ)みんなで(どこか)行きたい、決めてくれたら、どうにか都合をつけるよ。
(75歳女性・大原)

困りごとやつらいことなどに対し、自分で取り組んでいる工夫や対応策は？

電動カーで神川までは行ける、電動カーは、歩道を走れるからいいし。
(84歳女性・神川)

寂しいときは、人に来てもらったり、出かけたいしている。
(91歳女性・田代)

私、電動カーでも行きたくない、夫が乗せてくれるから、もう2年になる。
(75歳女性・大原)

今でも、車にも乗れるんだが...自転車でもどこまで行ける。
(76歳男性・城元)

(運転免許の返納は)自分で決断したのだから、あとは、自分を納得させる。どうしなく、自分かみじめになる。それではいけないので、明るく、考えを変えた方がいいだろうと言うことで。

電動カーで、遠くは、山越えをして、大原まで行く。
(82歳男性・田代)

運転免許を返納した時の気持ちは？

その時は、しょうがないと思った。
(72歳男性・神川)

昨年3月か、頭が悪かったから、返納した。

長男が思い切って、電動カーを何も言わないのに買ってくれた。最初は、勝手なことをしやがってバカヤロー！と思った。自分をおしめ込みにさせられた。もうどんな歳なんだねーと思った。今は、電動カーがあつてよかった。

孫がいるような歳になって、(警察に)つかまるようなことはしたら絶対にいかんと思った。孫が大学入学が決まりどうだったの、そんな時に悪いことは申し訳ないと思つて決断した。
(82歳男性・田代)

いちばんの楽しみは？

(カフェ)こうして集まるのが楽しい！
(72歳男性・神川)

今までいろんなところに住んできた。埼玉の大宮にも住んでいた。どうしても帰って来いと言うことで帰ってきたが、最初は慣れなかった。運転免許もなかったし、そもそも車を使わない生活だったから、馴染めた。友達とのお茶飲みが楽しい！
(91歳女性・田代)

カフェで皆さんと話をすることが生きがい！だから、毎回、遠足に行きたいと言っている。

ビール、焼酎の晩酌を毎日やるのが楽しい！
(82歳男性・田代)

ハッチワーク！裁縫が好き。たまにビールを飲むが、ひとりでないので、めだに飲まない。
(84歳女性・神川)

(みんな)カフェと一緒にやるのがいい！みんながこうしてしゃべって、元気が出るのがかいばんいい！
(76歳男性・城元)

夫が牛を飼っている、8頭くらいいて、かわいし、人間も牛、牛がかわいし！夫は草をどってきて食べさせるだけ、畜舎の掃除などは、私がやっている。牛の世話が楽しい！言うことを聞くと、私に頭を下げる、かわいし！牛がいていいねと言われると、うれしい！
(75歳女性・田代)

令和4年3月パンフレット作成時の当事者インタビュー①

以前、私も嫌な思いをしたが、自分は今もう気にしないことにした。悪いことをしているわけでもないし、人に迷惑をかけるわけでもない、自分はまっすぐ、そういう気持ちでいるから、もうあま...
ただ、私は認知症だと、言っている人がいたら、私もこういう経験をしてきたので、それは私も、話しておきたい。

でも、そんなに気にすることはないと思う。なつたらなつたで、仕方ないから、人間はよくおもしろい、なんかやるべき、シルバー人材センターの仕事もあるわけだから、そういうところに行って仕事をさせてもらって...まず、ずいぶん変わってくると思う。

(仕事がたくさんあるので)楽しい、これが楽しくないと言ったら、それこそ失礼だ。
(74歳男性・宿利原)

○ 第1回：「当事者の皆さんは何がしたいのか、共に何ができるのか」を議論



○ 第2回：意見を7つに集約し、取り組みたいテーマを自己選択・自己決定
最終的に6つに再集約



○ 第3回：6つのグループがひと月間「Our Project」を検討し、発表



○ 会議体制

- ・ 月1回のリーダー会議
- ・ 3か月に1回の全体会議 → 各プロジェクト間で情報交換

○ 改めて、認知症カフェの当事者メンバーさんとチーム員との交流会を開催



(令和6年5月19日)

○ 交流会の結果を踏まえて、今後の活動の方向性をそれぞれのチームで再検討



(令和6年5月24日)



Projectの目的	これまでのチーム活動
① 交流事業（場所）の開発	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：あいま ○ 無人販売所やキッチンカーを活用した交流拠点づくり
② 交流事業（他・多世代交流）の開発	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：風は南から ○ 農作物の植付・収穫共同作業等を通じた交流機会の確保
③ 社会参加の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：プロジェクトX ○ ゆうゆうカフェメンバーの社会参加推進への挑戦
④ 趣味活動の開発	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：なんでもやってみよう会 ○ 町内の観光スポット、お花見できる場所リストづくり
⑤ 外出手段の開発	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：スーパーマン ○ コミュニティバスの路線見直しやあいのりタクシーの普及啓発等
⑥ 広報活動・サポート活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ チーム名：KINKOU少年団 ○ ゆうゆうカフェやサロン活動等のPR活動等

現在のチーム活動
<u>① チーム あいま</u>
<u>② チーム 風は南から</u>
<u>③ チーム いろとりどり（新規）</u> ○ よろっで農園や子ども食堂とコラボした障害者・子どもたちとの多世代交流
<u>④ チーム プロジェクトX</u>
<u>⑤ チーム なんでもやってみよう会</u>
※ 活動休止
<u>⑥ チーム KINKOU少年団</u>

その他の活動…

○ 「認知症フレンドリー事業所」の登録要件の検討

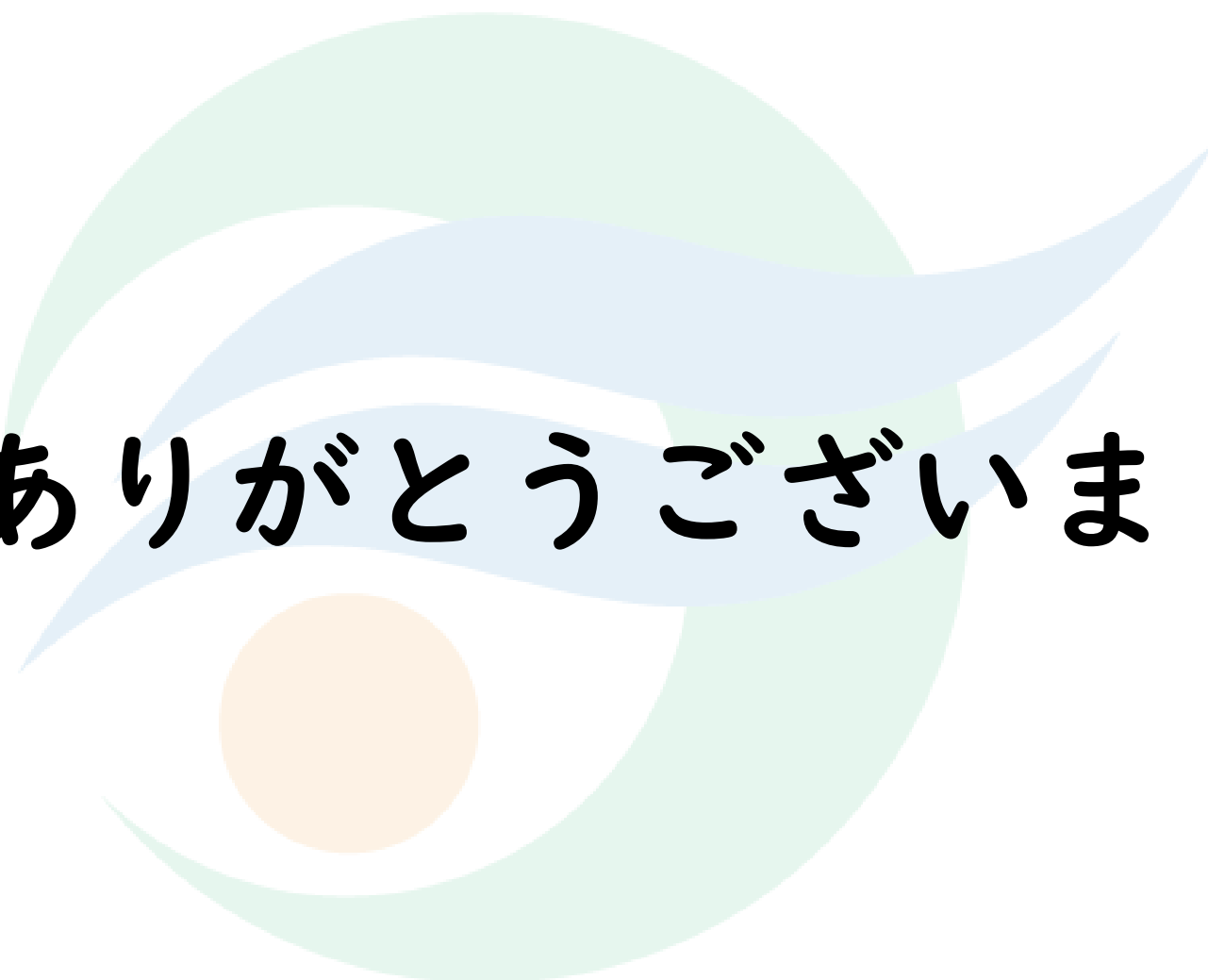
次の a ~ c の全てを満たすこと

- a 事業所の代表者を含め、全従業員の20%以上が、錦江町が開催する「認知症フレンドリーパートナー養成講座」を受講している事業所
- b 高齢者等の行方不明者が発生した際に、情報提供等早期発見への協力を行う事業所
- c 認知症になっても生活しやすいまちづくりに向けた取組を継続して実施する事業所

○ 図書室への「認知症との出会いコーナー」の設置

○ トランクライブラリーの製作



A stylized graphic of an eye. The iris is a light green circle. The pupil is a light blue circle. The sclera is a light orange circle. The eyelids are represented by two curved, overlapping shapes: a light green one on top and a light blue one on the bottom, both pointing towards the right.

ご清聴ありがとうございました。